

平成30年度総会開催



この度、前会長山越淳一さんの後を受けての就任となりました。微力ではありますがあれど、地域のために貢献したいと存思います。地域には様々な活動があり、また課題も山積しております。

が、現時点の重要な課題は、御堂地域のヴィンヤード整備に伴う活性化構想に取り組むことと考えております。単にブドウの栽培ワイナリーの創設だけにとどまらず、祢津地域、ひいては東御市全体に及ぼす観光資源として活用していきたいと

去る四月二十四日、総会において会長に選出されました。地域づくりの会には設立準備会の時から関わり始め二期四年は教育文化部長として務めて参りました。

会長に就任して
別府英宣

むことは到底出来ません

市とも力を合わせて、周辺地域の歴史・文化・自然をうまく融合させ、都会から人を呼び込む方策を模索していくかと思います。



市とも力を合わせて、周辺地域の歴史・文化・自然をうまく融合させ、都会から人を呼び込む方策を模索していくかと思います。

監事	北沢誠一（姫子沢）
監事	桜井 勉（新張）
教育文化部副部長	野口賢吉（新屋）
教育文化部副部長	宮下清行（西宮）
教育文化部副部長代理	齊藤敏彦（滝の沢）
産業経済部副部長代理	神津節夫（新張）
生活福祉部副部長	白石三郎（新屋）
副会長	後藤千代子（東町）
会長	別府英宣（西宮）
副会長	樺原みち代（新張）
会計	成沢俊夫（西宮）
生産経済部会長	小野山洋身（伊勢原）
産業経済部会長代理	斎藤敏彦（滝の沢）
教育文化部部長	宮澤才治（祢津）
教育文化部副部長	塩川壽友（新屋）

祢津地域づくりの会

No. 12

祢津地域づくりの会
事務局
東御市祢津917-4
祢津公民館内
TEL:62-0251
FAX:62-0251



四月十二日（木）曇り、花岡敏道さんの指導で、城山にて祢津小学校三年生児童がハヤシミドリシジミの卵の観察をしました。今年は柏の木に産み付けられた卵が、どんな場所に産み付けられ、どんな形状か虫眼鏡で覗いて観察しました。



六月五日（火）晴れ
学校で飼育した蝶を放蝶する日です。
放蝶日にふさわしい晴れの日で、花岡さんより記念に四十四名の児童全員にハヤシミドリシジミのピンバッヂがプレゼントされ、それぞれ自分の胸にバッヂを付けました。

ハヤシミドリシジミのほかにアイノミドリシジミなど四種類の放蝶で、各班に分かれ蝶の入ったトレイのふたを開け放蝶しましたが、児童の衣服に舞い戻る蝶、すぐに青い空に飛び出し柏の葉に止まりたりで、にぎ

やかな児童の歓声が聞こえていました。その後、祢津小学校の方向に向いて「祢津小学校万歳」をして下山しました。今年も花岡さんの指導で学校で飼育観察ができる放蝶できることをうれしく思います。祢津地域づくりの会では自然フィールドで子どもたちが安全に学習できるようにサポートしています。



湯の丸高原ウォーキング教室（お知らせ）

日 時 7月22日（日）湯の丸9:00～11:00
場 所 湯の丸トレイルランコース
講 師 身体教育医学研究所 健康運動士指導員
参加費 100円（傷害保険料）
集合場所 市バス利用者は 武道館駐車場 8:30 祢津公民館 8:35
自家用車で行く方は 湯の丸第2駐車場 8:50 集合
問い合わせ ☎0268-62-0251（祢津公民館内／祢津地域づくりの会）
又は ☎0268-64-8883 東御市健康保険課 健康増進係

◆雨天の場合は湯の丸コースを見学後、総合福祉センターでストレッチ運動教室

ハヤシミドリシジミの採卵放蝶支援 教育文化部会（野口）

六月二十六日（火）東御市まちづくり懇談会が祢津地区を皮切りに開催されました。一部は去年の要望事項の経過報告と、今年度要望事項の回答とその意見交換が行われました。

六月の大雨の時、御堂へつづく農道に水があふれたが、連絡の対応がスムーズで、きなかった事。サンライン

六月二十四日（日）標高一七五〇～一九〇〇mに渡り群生するレンゲツツジ、一目六十五万株とも言われ、国の天然記念物にも指定されています。本年は温暖化によるせいか、例年に比べ開花が十日くらい早くピークは過ぎていましたが、ツツジ平は今が見ごろです。

当日は天気にも見守られ、さわやかな気候の中県内外はもちろん県外（新潟・富山・群馬等）からも観光客が押し寄せ、子供連れの家族から年配のご夫婦など大勢の方々が楽しんでいました。

そんな中、禰津煎餅の無料配布を行いました。

昭和三〇年代の手焼き煎餅と評判も上々でした。丸津地区の名所・



湯の丸高原つつじ祭りで 禰津煎餅焼き無料販売 産業経済部会（宮下）



旧跡十二箇所を選定し、祢津の名物として禰津煎餅を売り出した訳ですが、一度に十二枚しか焼けずお待たせした皆様にはお詫び申上げます。



六月二十五日（月）午前、成したというDVDを観ました。称津公民館にて、「エンディングノート（終活帳）」の意義と書き方」という内容で、市の社会福祉協議会地域福祉係長の高岡久章様を講師にお迎えして、ご講和をして頂きました。

まず東御市の人口推移のお話をいただき、現実の事として危機感を持ちました。

また認知症も高齢者の二十一%にものぼり、誰でもが罹りえる病気だとお聞きして、より身近な問題だと認識を新たにしました。

まことに

次に遺品整理の会社が作成したというDVDを観ました。一人暮らしの老人が社会

から孤立したまま死んでしまった、実際の悲しい末路がさまざまと映像化されました。人は一人では生まれてこないし、一人では死ねないという事が胸に突き刺さる内容でした。



六月二十六日（火）東御市まちづくり懇談会が祢津地区を皮切りに開催されました。一部は去年の要望事項の経過報告と、今年度要望事項の回答とその意見交換が行われました。

エンディングノートの意義と書き方講座 生活福祉部会（橋原）

横断地下道の防犯カメラ、ゴミ集積場の不法ゴミ等の意見が出されました。二部は地域づくりの会の活動と目的についてスライ

ドで説明し、意見交換が行なわれましたが、総会への一般参加や祭を地域づくりで出されました。

うに、自分が生きてきたこれまでの確認のつもりで昔を振り返ってノートに書くことが、頭のトレンジングになり、それを読んだ周りの人たちが、自分を見送つてくれる時に楽になるとお聞きして、エンディングノートを書くハードルが低くなつたような気がしました。